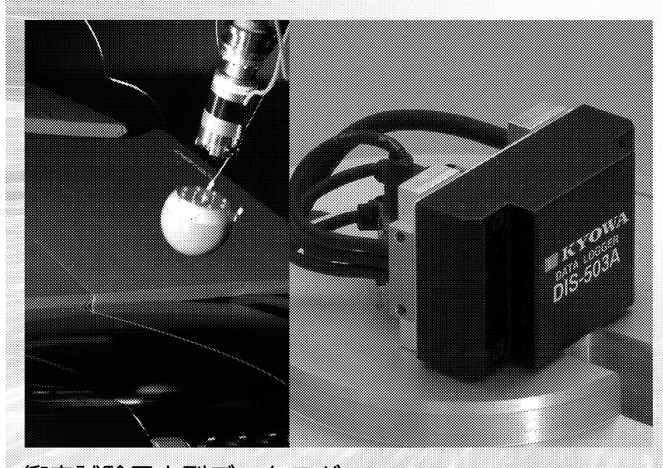
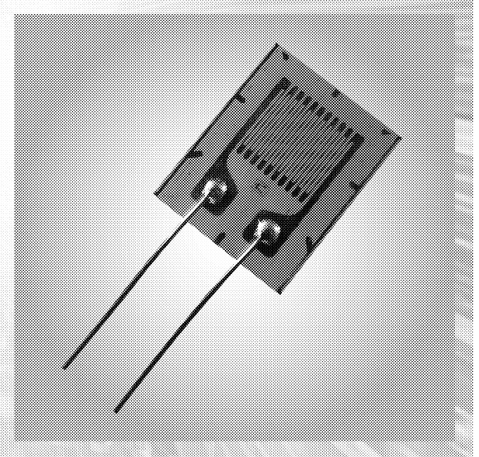
自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展 2014 AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION

ブースNo. 60

これまでにない技術で 人とくるまの未来に貢献





衝突試験用小型データロガー
（歩行者保護頭部インパクタ内蔵用）
DIS-503A

歩行者保護試験に用いる頭部インパクタの内部に装備し、同じく内部に設定された加速度計出力の集録を行う小型データロガー。
- 測定チャネル数：３チャネル／１台
- 耐衝撃性：4903m/s² (500G), 3ms
- 最高サンプリング周波数：150kHz

水素ガス環境用箔ひずみゲージ
KFV-2-350-C1

高圧水素ガス環境下で
安定したひずみ測定ができる箔ひずみゲージ
- 燃料電池自動車等の研究・開発向け
- 水素による電気抵抗変化が僅少
- 耐水素ガス圧：90MPa以下

確かな計測で、その先の未来へ
KYOWA
計測と制御を通じて、“安全と安心”の提供で社会に貢献する“技術創造企業”
www.kyowa-ei.co.jp/　〒182-8520 東京都調布市調布ヶ丘3-5-1

答えはETASにある
自動車開発の現場から“MADE IN JAPAN”を支えるパートナー、それがイータスです

自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展 2014 AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION
会期：5月21日(水)～23日(金)
会場：パシフィコ横浜・展示ホール
小間番号：67

イータス株式会社
〒220-6217
横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズタワーC 17F
TEL：045-222-0900　FAX：045-222-0956
E-mail：sales.jp@etas.com
http://www.etas.com
ETAS

自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展 2014
AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION

きょう開幕！

23日まで　パシフィコ横浜

自動車技術会（JSAE、山下光彦会長）春季大会のメインイベント、「自動車技術展　人とくるまのテクノロジー展２０１４」がきょうから23日までの3日間、横浜市のパシフィコ横浜で開催される。完成車、部品メーカーから、材料メーカー、試験計測機器メーカー、情報機器メーカー、ソフトウエアベンダーまで、国内外の自動車に関連する製品や技術、サービスが一堂に会す。入場料は無料。開催時間は10時から18時（最終日は17時）まで。

モビリティー・カーロボティクス

特別企画展示で体験

１９４７年の設立以来、日本の自動車技術の向上に貢献している自動車技術会が開催する春季大会の併催行事が「人とくるまのテクノロジー展」である。同展には国内外から、４８８社・団体（１０７６小間）が出展する。

主催者のＪＳＡＥが企画する「特別企画展示コーナ」は最先端技術の紹介や試乗体験通じて、自動車の未来を知ることができることから、毎回、高い関心を寄せられている。今年のテーマは〝人と社会に優しい先進クルマ技術－２０２０年の「モビリティ」・「カーロボティクス」を体験しよう〟。将来の自動車と社会につながる技術として「電動車」「自動運転、高度運転支援技術」を取り上げ、明日の自動車や社会を、今ある技術で紹介し、体験してもらうというコンセプトで企画された。

展示ホールにはシミュレーターやロボットなどを設置。センシング、制御、ＨＭＩ（ヒューマンマシンインターフェース）、技術や自動運転、高度運転支援技術を体験することができる。

また、屋外には話題の小型コミューター、高齢化社会をアシストする電動モビリティー、さらには最新の電気自動車（ＥＶ）、プラグインハイブリッド自動車（ＰＨＥＶ）、ハイブリッド自動車（ＨＶ）などの電動車両試乗体験コーナーを設置する。参加者自らが、展示会場のパシフィコ横浜付近の一般道、約3キロを運転することできる。

試乗車はホンダ「アコードＰＨＥＶ」、マツダ「アクセラハイブリッド」、三菱自動車「ｉ－ＭｉＥＶ」「アウトランダーＰＨＥＶ」、日産「リーフ」、富士重工業「ＸＶハイブリッド」、トヨタ「ノアハイブリッド」「プリウスＰＨＥＶ」。各メーカーの説明員が試乗車の助手席に同乗し、車両説明やコース案内を行う。

当日申し込みによる試乗は午後のみとなっており、受け付けは１日目と２日目が12時45分と15時15分の２回。３日目は15時で試乗会場は終了となるので、注意が必要。同時開催の超小型コミューター、電動モビリティーは当日のみの受け付けを行う。

カーロボティクスやＨＭＩ、超小型モビリティーに関する技術・製品はワークショップと連携しており、特別講演で紹介される。また、メーカー各社ブースでも展示・紹介が行われるほか、フォーラムや新製品・新技術セミナーでもテーマに取り上げられている。

電動コミューターはメーカーブースでも展示。インホイールモーターなどの部品技術に注目したい（ＮＴＮの電動コミューター「Ｑ'ｍｏⅡ」）

フォーラムやセミナー

次世代向け最新情報

人とくるまのテクノロジー展の特徴はセミナー、講演が充実しているということだ。自動車技術が直面している課題の解決策、次世代自動車・部品に関する技術の最新動向などを知ることができることから、毎回多くのエンジニアが参加している。

参加登録不要で聴講料無料のＫｅｙｎｏｔｅ Ａｄｄｒｅｓｓは会期２日目の22日16時55分から会議センターメインホールで行われる。トヨタ自動車の内山田竹志会長が「モビリティの進化に向けて」をテーマに講演を行う。

また、同展の来場者であればだれもが無料で聴講可能なフォーラム（ただしテキストは自動車技術会会員資格を問わず消費税込み２０００－４０００円）は会議センター、会議センターメインホール、アネックスホールで行われる。「ディーゼルエンジン」や「交通事故自動通報システム」「車体技術」「自動車材料」といったものから、「カー・ロボティクス」「マルチメディア」「高度道路交通システム（ＩＴＳ）技術」など、主催者のＪＳＡＥによる特別企画展示とリンクしたものまで、幅広いテーマが用意されている。

一方、展示ホールＤで各企業が先端技術や将来のビジョンについて講演するワークショップ、アネックスホールで出展社が製品技術情報や企業・業界情報などをさらに詳しく紹介する新製品・新技術セミナーにおいてもテーマにしたプレゼンテーションが行われる。

新製品・新技術セミナーでは次世代自動車における安全・快適性能向上を目指して開発が進む「最新車載ＨＭＩソリューション」の紹介や、先進運転支援システム、自動運転技術といった車載制御の開発環境をテーマにした「次世代自動車開発の最新トレンド」などのセッションに注目したい。フォーラム、ワークショップなどの各スケジュール、セッション詳細は同展示会のウエブサイト（http://expo.jsae.or.jp/）へ。

富士通セミコンダクターが開発しているデジタルクラスターの新技術・新製品セミナーを21日13時半からアネックスホールＦ２０２で実施

Super High-End

未来をひらく、
スーパーハイエンド
太陽誘電

太陽誘電はワールドワイドで
ナンバーワンが期待できる商品を
「スーパーハイエンド商品」と名付けています。
「スーパーハイエンド商品」を核に
民生機器から車載、産業機器、医療分野へと
領域を広げています。

● スーパーハイエンド商品群

積層セラミックコンデンサ
■超小型/大容量/低背型/高周波用/音鳴き対策

インダクタ
■メタル系パワー MCOIL™　■高周波積層 High-Q

ノイズ対策
■フェライト チップビーズ　■コモンモード チョークコイル

モジュール
■部品内蔵配線板 EOMIN™

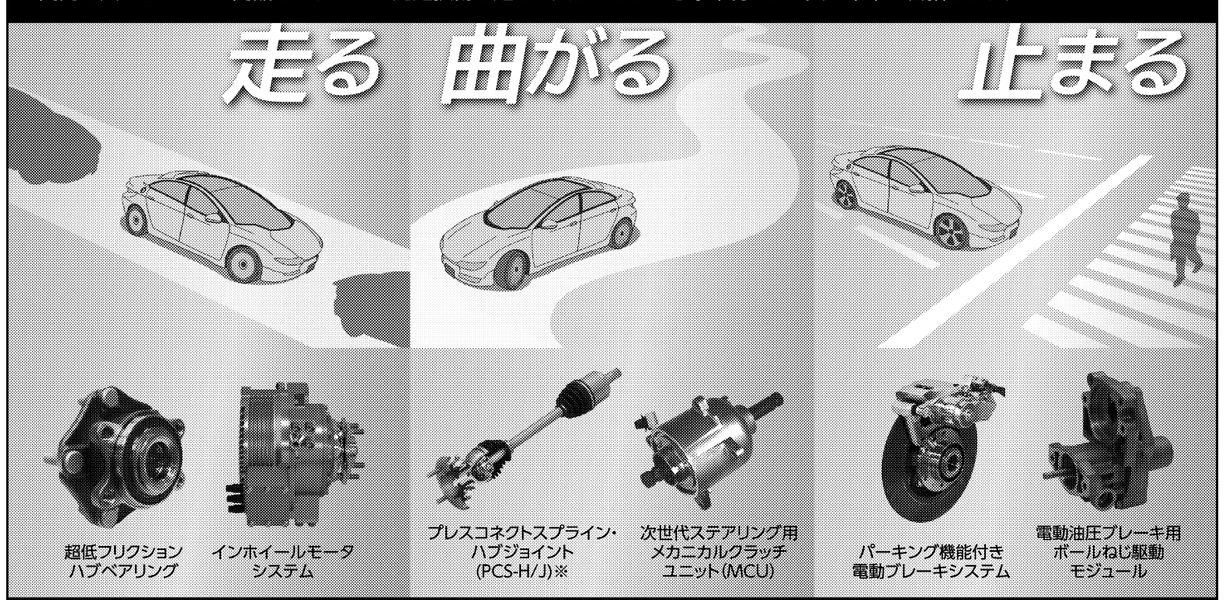
高周波プロダクツ
■SAW/FBAR デバイス　■RFモジュール

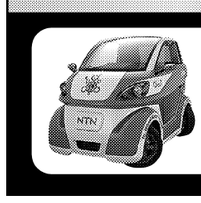
スーパーキャパシタ
■ポリアセンキャパシタ　■リチウムイオン キャパシタ

高信頼性用途部品
■積層セラミック コンデンサ　■インダクタ　■ノイズ対策部品

TAIYO YUDEN
http://www.ty-top.com
〒110-0005 東京都台東区上野6丁目16番20号 松村ビル　TEL:03-3833-5441(代)

人とくるまの未来へ
NTNの先進技術
NTN®
～New Technology & Ecology～
電動化、低フリクション化、高効率化など低燃費化につながるモジュール商品や、次世代自動車・高度運転支援の開発を支えるシステム商品など、NTNは先進技術を通じて人とくるまと地球環境のより良い未来を目指します。





“その場回転”、“横方向移動”といった特徴的な動きの2人乗り電動コミュータQ'moⅡも出展します。

自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展2014 AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION
会場／パシフィコ横浜・展示ホール　NTNブース／No.119
日時／2014年5月 21日(水)・22日(木) 10:00～18:00　23日(金) 10:00～17:00
※独自のプレスコネクト接合を適用した高性能・軽量なハブジョイントです。